



PATEK PHILIPPE
GENEVE

《報道資料》 ページ 1

パテック フィリップ ジュネーブ

2024年10月

Cubitus (キュービタス) 瞬時送り式大型日付、曜日、ムーンフェイズ表示5822P-001モデル まったく新しいコレクションに登場した新しいコンプリケーション

新しいCubitusコレクションの誕生を記念し、パテック フィリップは瞬時送り式大型日付表示、曜日表示、ムーンフェイズ表示を組み合わせた斬新な表示を特徴とするまったく新しいモデルを発表する。6件の技術特許が出願されている新しいムーブメントを搭載した、Cubitus瞬時送り式大型日付、曜日、ムーンフェイズ表示5822P-001モデルは、角が丸みを帯びたエクスクルーシブで大胆なデザインのスクエア型プラチナ・ケース、水平エンボス・パターンが施されたブルー・ソレイユ文字盤、ネイビーブルーのエンボス加工ファブリック柄コンポジット素材バンドによっても際立っている。高級時計製作、高度な技術性とカジュアル・エレガンスの新しい独自性溢れる融合をここに見ることができる。

パテック フィリップの新しいコレクションの発表は、祝福すべき偉大な瞬間である。そして新しいエクスクルーシブなコンプリケーション・ムーブメントを同時に発表することは、その重要性をさらにまぎれないものとするであろう。Cubitusデザインの《カジュアル・シック》なスタイルに付随して、マニファクチュールパテック フィリップは、視認性と強い個性で際立つ《大型日付表示》機能にスポットライトを当てることを選択した。日常生活に有用な2つの並んだ表示窓による大型日付表示はまた、Cubitusケースと文字盤の独自性溢れるジオメトリーと完璧にマッチする。しかしこの機能を曜日およびムーンフェイズ表示と組み合わせた新しいムーブメントを開発するため、パテック フィリップは数多くの技術的、美的課題を克服しなければならなかった。とりわけまったく新しい日付表示機構を設計する必要があった。その目的は、マニファクチュールのすべてのコンプリケーションと同じく、技術的な洗練を最大限のシンプルさ、実用性、および使用上の安全性と組み合わせることであった。

著名なキャリバー 240の新しい変身

最初の要件は、時を超越したエレガントなケースの創作に欠くことのできないムーブメントのスリムさである。複雑な機構が追加されたにもかかわらず、例外的な薄さを維持するため、パテック フィリップの技術陣は22金偏心マイクロローターを備えた著名な超薄型自動巻ムーブメント、キャリバー 240を基本キャリバーとして採用することを選択した。1977年に発表された機械式時計におけるこの偉大なクラシックは、そのスリムさ、信頼性、パフォーマンスによりアイコン的なムーブメントとなっている。追加機能を備えたいくつかのバージョンが創作され、現行コレクションの多くのモデルに搭載され、その価値と汎用性を証明してきた。例えばキャリバー 240 PS IRM C LU (部品総数249個)は、10時30分位置にパワーリザーブ表示、7時位置に日付指針表示とムーンフェイズ表示、4時位置にスモールセコンドを備え、2006年以来ノーチラス5712モデルに搭載されている。新しいCubitus 5822P-001モデルにおいては、12時位置の大型日付表示と4時30分位置のスモールセコンドに加え、7時位置のサブダイヤルに指針による曜日とムーンフェイズが同軸表示される。こうして伝統と革新が完璧に融合した新しい自動巻ムーブメント、キャリバー 240 PS CI J LU (部品総数353個)が誕生した。キャリバー 240 PS IRM C LUと比較して104個の部品が追加されたにもかかわらず、この新しいムーブメントの厚

PATEK PHILIPPE SA GENEVE

Chemin du Pont-du-Centenaire 141 – 1228 Plan-les-Ouates

P.O. Box 2654 – CH – 1211 Geneva 2 – Switzerland

Tel. +41 22 884 20 20 – Fax +41 22 884 25 47 – www.patek.com



《報道資料》 ページ 2

さはわずか0.77 mm (3.99 mmに対して4.76 mm)しか増大していない。この目的のために技術陣は、基本キャリバーを改変し、2つの表示窓による大型日付表示のための瞬時送り式カレンダー機構を加えたのである。

18ミリ秒で同時にジャンプするカレンダー表示

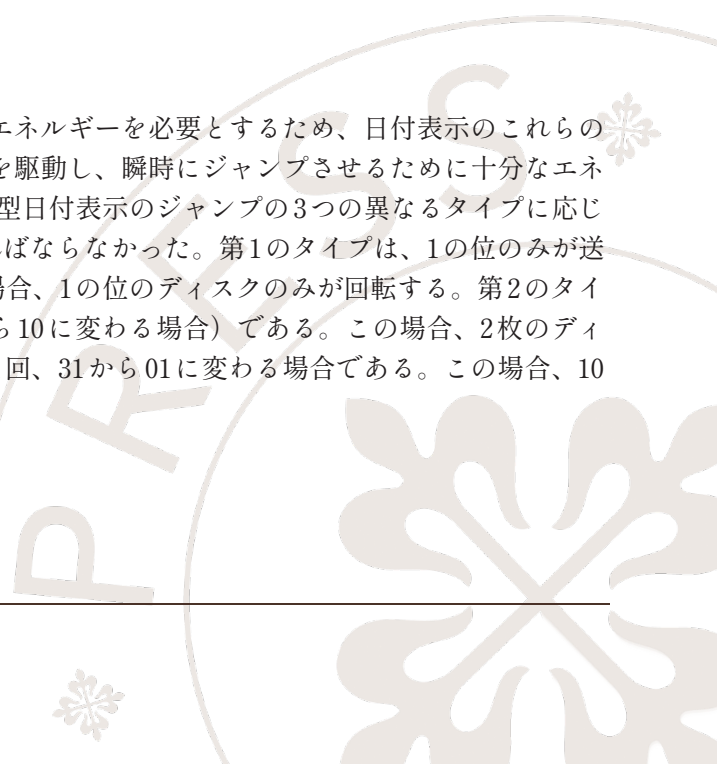
スリムさという要件に加え、完璧な読みやすさは大型日付表示のための不可欠な条件である。異なる表示間の時間差を防止するため、パテック フィリップは、大型日付表示のみでなく、曜日とムーンフェイズ表示も含んだ瞬時送り機構を開発することにした。これらすべての表示の変更は、24時間車によって駆動される大型レバーによって制御される。この24時間車は大型レバーを連続的に引き上げるカムを備えている。真夜中になると、強力なバネのおかげで、大型レバーの爪がカムの頂点から落下する。大型レバーは、これらの表示の変更を行うために、さまざまな部品を介して日付星車、曜日星車、ムーンフェイズ星車をそれぞれ1歯分回転させる。これらの表示はすべて、1日を通して蓄積されたエネルギーのおかげで、毎晩真夜中に瞬時に、同時に18ミリ秒でジャンプする。

大型日付表示のコプレナー・ディスク

大型日付表示の最も平らで最もエレガントな表示システムを実現するために、パテック フィリップ技術陣は、ディスクの非審美的な重なり合いを防ぐコプレナー・ディスク（完全に同一平面上に配置されたディスク）を備えたキャリバーを設計した。毎晩真夜中に、大型レバーのもたらすエネルギーは、10の位のディスク（0、1、2、3の数字が2組）と1の位のディスク（0から9までの数字）を駆動する2つの輪列の間で分配される。キャリバー 31-260 PS QL（2021年のインライン表示永久カレンダー 5236モデルにて導入）に関する技術特許から踏襲されたこの機構は、一部の歯が取り除かれた歯車により1を静止させたまま、31から01へのジャンプを制御することができる。また2021年に特許を取得した1の位の《ダブル・ジャンプ防止》システムは、衝撃または日付修正の際に日付のダブル・ジャンプを回避する。

複雑なエネルギー管理

2枚のコプレナー・ディスクによる大型日付表示は大きなエネルギーを必要とするため、日付表示のこれらの2枚の大型ディスクだけでなく、ムーンフェイズと曜日表示を駆動し、瞬時にジャンプさせるために十分なエネルギーを蓄積する必要があった。また時の経過と共に起る大型日付表示のジャンプの3つの異なるタイプに応じて、機構が適切にこのエネルギーを分配するようにならなければならなかった。第1のタイプは、1の位のみが送られる場合（例えば11から12に変わる場合）である。この場合、1の位のディスクのみが回転する。第2のタイプは、同じ月において10の位も送られる場合（例えば09から10に変わる場合）である。この場合、2枚のディスク（10の位と1の位）が回転する。第3のタイプは、月に1回、31から01に変わる場合である。この場合、10の位のディスクのみが回転し、1の位のディスクは動かない。





特許出願中の6件の技術革新

これらすべての課題に 대응するため、パテック フィリップの技術陣は新しい技術的解決法を開発し、その結果、特定分野の合計6件の技術特許出願が行われた。これらの技術革新により、とりわけ大型日付表示数字の完璧なアラインメントを常時保証し、31から01への日付変更中または衝撃の際に10の位のダブル・ジャンプを回避し、さらにムーブメントが損傷したり、調整が狂ったりする危険なしにすべての表示（時刻と曜日を含む）を1日のどの時刻でも修正することができる。これらすべての進歩はパテック フィリップの完全にユーザー指向の設計思想に準拠したものであり、さまざまな機能の信頼性、読みやすさ、操作の容易さを最大化することを可能にした。ムーブメントは、ケース側面に設けられた3つの調整ボタンにより日付、曜日、ムーンフェイズを調整できる。本モデルはシンプル・カレンダーであるため、ユーザーは3月、5月、7月、10月、12月のそれぞれ1日に日付を調整する必要がある。ムーンフェイズ表示は、真の月の満ち欠けサイクルから1日ずれるのに122年かかるほどの高精度を誇る。新しいキャリバー 240 PS CI J LUの計時精度は2024年春、マニュファクチュールが公式発表したすべての強化された規準に準拠しており、パテック フィリップ・シールの規定が定める通り、日差は-1〜+2秒である。

個性と読みやすさを兼ね備えた文字盤

新しいCubitus瞬時送り式大型日付、曜日、ムーンフェイズ表示5822P-001モデルは、ソレイユ装飾と水平エンボス・パターンの施されたブルー文字盤を備えている。大型日付表示は、ベベルカットされたエンボス・フレームを備え、12時位置に並んだ2つの表示窓上に行われる。ブルーをバックに、7時位置に曜日とムーンフェイズが同軸表示され、非対称な4時30分位置にスモールセコンドが表示される。ホワイトゴールド・バトン型植字アワーマーカーとホワイトゴールドの丸みを帯びたバトン型時・分針には昼間はホワイト、夜間はグリーンに輝く夜光コーティングが施され、読みやすさが強化されている。

高貴なプラチナ仕様

新しいCubitusのプラチナ仕様ケースは、両側に2つの結合部を備えた2体構造となっており、45 mmの直径とエレガントな薄いプロフィール（9.6 mm）が特徴である。角が丸みを帯びた正方形の個性的なデザインは、《縦サテン仕上げ》によるベゼルの平らな表面とケースの上面、およびポリッシュ仕上げによるベベルカットされたベゼルの側面とケース本体の側面が生み出すコントラストによって強調されている。パテック フィリップのすべてのプラチナ・モデルと同じく、新しい5822P-001モデルはベゼルの6時位置にダイヤモンド（今回初めてバゲットカット・ダイヤモンドを採用）がセッティングされている。透明なサファイヤクリスタル・バックを通して、新コレクションのシグナチャーといえる、文字盤と同じ特徴的な水平のパターンが施された22金偏心マイクロローター搭載の新しいキャリバー 240 PS CI J LUを鑑賞することができる。

タイムピースのモダンで技術的かつ《カジュアル・シック》なスタイルは、ネイビーブルー、エンボス加工ファブリック柄の優れた耐性を誇るコンポジット・バンド、およびこれとコントラストをなすクリーム色のステッチによって引き立てられている。プラチナ仕様の折り畳み式バックルには、Cubitusコレクションの名が刻まれている。



パテック フィリップは、この時計にマッチする新しいCubitusカフリンクスもコレクションにラインナップしている。ホワイトゴールドのフレームはケースのフォルムに呼応し、ブルー・ソレイユ・センターには水平エンボス・パターンが施されている（205.9821G-001）。

キャリバー 240 PS CI J LUに関する6件の新しい技術特許

キャリバー 240 PS CI J LUの開発により、特定分野の合計6件の技術特許出願が行われた。

• タンジェント・ロック（欧州特許出願 EP4328674）

毎月末、日付が31から01に変わる際、1の位は不動のままではなければならない。そのため、この際エネルギーは2つの輪列（10の位と1の位）の間で分配されるのではなく、10の位のみで伝達される。10の位の輪列に統合されたこのタンジェント・ロック機構は、3から0への移行中に人為的な過剰消費を引き起こす。こうして10の位のディスクに向けられた余分なエネルギーを吸収することで、後者のダブル・ジャンプを回避することが可能となる。

• ダブルレバー修正システム（特許出願 CH719977）

この安全機構は、10の位の輪列が瞬時送り機構からのエネルギーを得ることができない09から10、19から20、29から30、31から01への移行中、10時位置のコレクターによって日付を手動で修正することを目的とする。第2のレバー（10の位のディスクの動きを完了させる柔軟なフィンガー）の存在により、いつでも、コレクターに加えられる力の量にかかわらず、確実に10の位のディスクをジャンプさせることができる。

• フレキシブルな曜日コレクター（欧州特許出願 EP4246247）

このシステムは、1日の任意の時刻、とりわけ午後9時30分と午前12時の間、曜日星車を回転させる大型レバーの爪によりコレクターの復帰がブロックされている時でも、曜日の修正を可能とした。この解決法は、回転爪を配置するには薄すぎるスペースに、格納式のコレクターを配置することを可能にする。

• ダブル・ファンクション・スプリングを備えたカム・セッティング・ホイール（欧州特許出願 EP4312083）

24時間車でカムを駆動するように設計され、ダブル・ファンクション・スプリングを備えたこのカム・セッティング・ホイール・システムは、完璧な精度で真夜中に日付をジャンプさせると共に、より大きな摩擦（トルク）に抗することができる。また24時間カムが大型レバーの爪に当たる際、クラッチ・リリースシステムに設けられた柔軟なフィンガーが格納されるため、ユーザーはムーブメントを損傷するリスクなしに、真夜中を超えて前方または後方にいつでも時刻合わせを行うことができる。

• ディスク表示の配置機構および柔軟なロッキング・プレート（特許出願 CH720028およびEP4336273）

大型日付表示においては、10の位と1の位の数字がわずかに視覚的にずれても表示は見苦しくなる。エキセントリックと柔軟なプレートで構成されるこの新しい機構は、最終的な文字盤が取り付けられた後、2枚のディスクの位置を個別に調整することを可能にする。したがって2つの数字は完璧に表示窓の中央に配置され、最適な読みやすさを実現する。このシステムにより、張力を維持し、これらの位置を恒久的に固定することが可能になり、着用中の衝撃に耐え、完璧な表示位置を維持することができる。



キャリバー 31-260 PS QL から踏襲された技術特許

新しいキャリバー 240 PS CI J LUは、2021年に発表されたインライン表示永久カレンダー 5236P-001モデルに搭載されたキャリバー 31-260 PS QLのために開発された2件の技術特許を踏襲している。

- **時計ムーブメントの衝撃防止および/またはダブル・ジャンプ防止機構（欧州特許出願 EP3786724）**

この機構は、衝撃や日付変更の際に日付が2度送られるのを防止することにより、日付表示の信頼性を強化し、2枚のディスク間の完璧な同期を実現する。

- **日付表示：31から01への移行（欧州特許EP3786723B1）**

この機構は、31日から翌月の1日への移行時に、31歯から2歯が切除された日付プログラム車などにより、1の位の数字が変化しない。

《本資料に関するお問い合わせ先》

PP Japan 株式会社

パテック フィリップ ジャパン

広告・広報部 部長

大塚 和泉

電話：03 - 5209 - 8018（直通）

FAX：03 - 3256 - 7558

izumi@ppjapan.com

《ご掲載いただく場合の読者お問い合わせ先》

パテック フィリップ ジャパン・インフォメーションセンター

電話：03 - 3255 - 8109

パテック フィリップ ホームページ：<https://www.patek.com>





技術仕様

Cubitus 瞬時送り式大型日付、曜日、ムーンフェイズ表示 5822P-001 モデル

ムーブメント：	キャリバー 240 PS CI J LU 超薄型自動巻ムーブメント、瞬時送り式大型日付、曜日、ムーンフェイズ表示（6件の技術特許）、スモールセコンド
直径：	31 mm
厚さ：	4.76 mm
部品総数：	353個（基本キャリバー：249個、大型日付表示の統合：104個）
石数：	52石
連続駆動可能時間：	最小38時間、最大48時間
自動巻ローター：	水平のパターンが彫金された22金ゴールド偏心マイクロローター、単方向巻き上げ式
振動数：	21,600 振動（片道）/時（3 Hz）
テンプ：	Gyromax®
髭ぜんまい：	Spiromax®（Silinvar®製）
髭持ち：	可動式
セッティング機能：	リュウズの2位置： ・ネジを緩めた位置：巻き上げ ・引き出した位置：時刻合わせ
表示：	指針： ・時針・分針（センター） ・スモールセコンド（4時30分位置） ・曜日表示（7時位置） 表示窓： ・2つの表示窓（1の位と10の位）による大型日付表示（12時位置） ・ムーンフェイズ（7時位置）
調整ボタン：	日付の調整（10時位置） 曜日の調整（8時位置） ムーンフェイズの調整（4時位置）
刻印：	パテック フィリップ・シール





《報道資料》 ページ 7

外 装

ケース： プラチナ950仕様
サファイヤクリスタル・バック
ねじ込み式リュウズ
ベゼルの6時位置にバゲットカット・ダイヤモンドをセッティング (0.02カラット)
3気圧防水

寸 法： 直径 (10時~4時) : 45 mm
幅 (9時~3時、リュウズを含む) : 44.9 mm
長さ (ラグ~ラグ) : 44.4 mm
総厚 : 9.6 mm
ラグ間隔 : 13.1 mm

文字盤：

- ・ブルー・ソレイユ、水平エンボス・パターン
- ・微細な同心円模様のスモールセコンド・サブダイヤル
- ・微細な同心円模様の日曜・ムーンフェイズ・サブダイヤル
- ・ホワイト夜光付18金ホワイトゴールドの丸みを帯びたバトン型時・分針
- ・昼間はホワイト、夜間はグリーンに輝く夜光付18金ホワイトゴールドのバトン型植字アワーマーカー
- ・ベベルカットされたエンボス・フレームを備えた2つの並んだ大型日付表示窓
- ・ホワイト塗装ホワイトゴールドのスモールセコンド秒針
- ・ホワイト塗装ホワイトゴールドの日曜表示針

バンド： ネイビーブルーのエンボス加工ファブリック柄の優れた耐性を誇るコンポジット・バンド、クリーム色のステッチ、プラチナ製Cubitus折り畳み式バックル

PRESS

